

[普及事項]

成果情報名：秋田県北部におけるモモ‘晩生川中島’の品種特性

研究機関名 果樹試験場 総務企画室(かづの果樹センター)
担 当 者 長崎仁甚・中村佐之・他4名

[要約]

モモの‘晩生川中島’は、収穫期が‘川中島白桃’より数日遅い9月中旬である。果実品質、外観は‘川中島白桃’と類似しており、収穫作業の労働力分散と出荷期間の延長が可能となる点から、普及性がある。

[キーワード]

モモ・品種・果実品質・晩生川中島・川中島白桃

[普及対象範囲]

県北部モモ栽培地域

[ねらい]

モモのリレー出荷を可能にするため、主力品種の‘川中島白桃’以降に収穫期を迎える品種について、県北部における果実品質等の特性を明らかにする。

[成果の内容及び特徴]

- 1 ‘晩生川中島’の初期生態は、‘川中島白桃’とほぼ同時期である(表1)。
- 2 ‘晩生川中島’の果重は340～380gとやや大きく、比較的容易に赤色に着色し、形状の揃いが良好である。糖度は12～13%と甘味が強く、酸味は少ない(表2)。果肉はやや硬めで、肉質はやや粗い。また、果実品質、外観ともに‘川中島白桃’と変わりがない(図1)。
- 3 ‘晩生川中島’の収穫時期は、‘川中島白桃’より2～4日遅い9月中旬である(表2)。
‘川中島白桃’と収穫期がずれるため、収穫作業の労働力分散と出荷期間の延長が可能となる。
- 4 核割れ果、蜜入り果の発生はほとんどみられない。また、通常防除下で問題となる病害虫の発生はない。

[成果の活用上の留意点]

- 1 ‘晩生川中島’は、花粉がほとんど無い品種であるため、人工受粉が必要である。
- 2 ‘晩生川中島’は、果面荒れの防止や着色の向上を図るため、有袋栽培とすることが望ましい。

[具体的なデータ等]



図1 「晩生川中島」の果実の外観

表1 初期生態(H30-R2)

品 種	調査年	発芽期	展葉期	開花始期	満開期	落花期
晩生川中島	H30	4月12日	5月3日	5月1日	5月4日	—
	R1	4月12日	5月6日	5月4日	5月10日	5月18日
	R2	3月31日	5月6日	5月5日	5月8日	5月13日
川中島白桃	H30	4月12日	5月3日	5月1日	5月5日	5月16日
	R1	4月11日	5月5日	5月3日	5月7日	5月17日
	R2	4月1日	5月6日	5月4日	5月7日	5月16日

表2 果実品質(H29-R2)

品 種	調査年	収穫日 (盛期)	果重 (g)	縦径 (cm)	横径 (cm)	側径 (cm)	着色 ^z	硬度 (kgf/cm ²)	糖度 (Brix%)	酸度 (pH)	食味 ^y	蜜 ^x
晩生	H29	9/12	313.9	7.84	8.25	8.76	3.0	1.89	12.5	4.37	2.4	0.0
川中島	H30	9/13	376.6	8.21	8.90	8.97	2.4	1.49	12.9	4.88	2.3	0.0
	R1	9/13	365.6	8.23	9.12	8.74	2.2	2.01	13.0	4.63	1.7	0.0
	R2	9/11	346.1	8.06	8.63	8.93	3.0	2.45	13.2	4.66	2.8	0.0
川中島	H29	9/8	428.8	8.43	9.75	9.14	2.4	1.78	14.0	4.13	2.3	0.0
白桃	H30	9/11	331.1	7.91	8.84	8.40	2.9	1.99	11.3	4.71	2.4	0.0
	R1	9/11	373.3	8.31	9.24	8.80	2.8	2.23	12.6	4.49	2.8	0.0
	R2	9/7	372.2	8.19	8.75	9.22	3.0	2.26	13.8	4.66	3.2	0.0

^z着色…指数で評価：着色多(3)～なし(0)

^y食味…良(5)～不良(1)

^x蜜(ミツ症の程度)…多(4)～なし(0)

[その他]

研究課題名：ナシ・ブドウ・モモ・その他樹種の育成系統及び新品種の適応性検定試験(第4次)

研究期間：平成23年度～令和2年度

予算区分：県単

掲載誌等：なし